



発展を続ける流域を洪水から守る

R·U·M·O·I 留萌川 R·I·V·E·R

大和田遊水地



留萌川の氾濫

留萌川の流域は、北海道北西部における社会・経済・文化の中核をなすとともに、近年、高規格道路や留萌港をはじめとした社会基盤の整備が進められていることから、今後ますます発展が期待されている地域です。

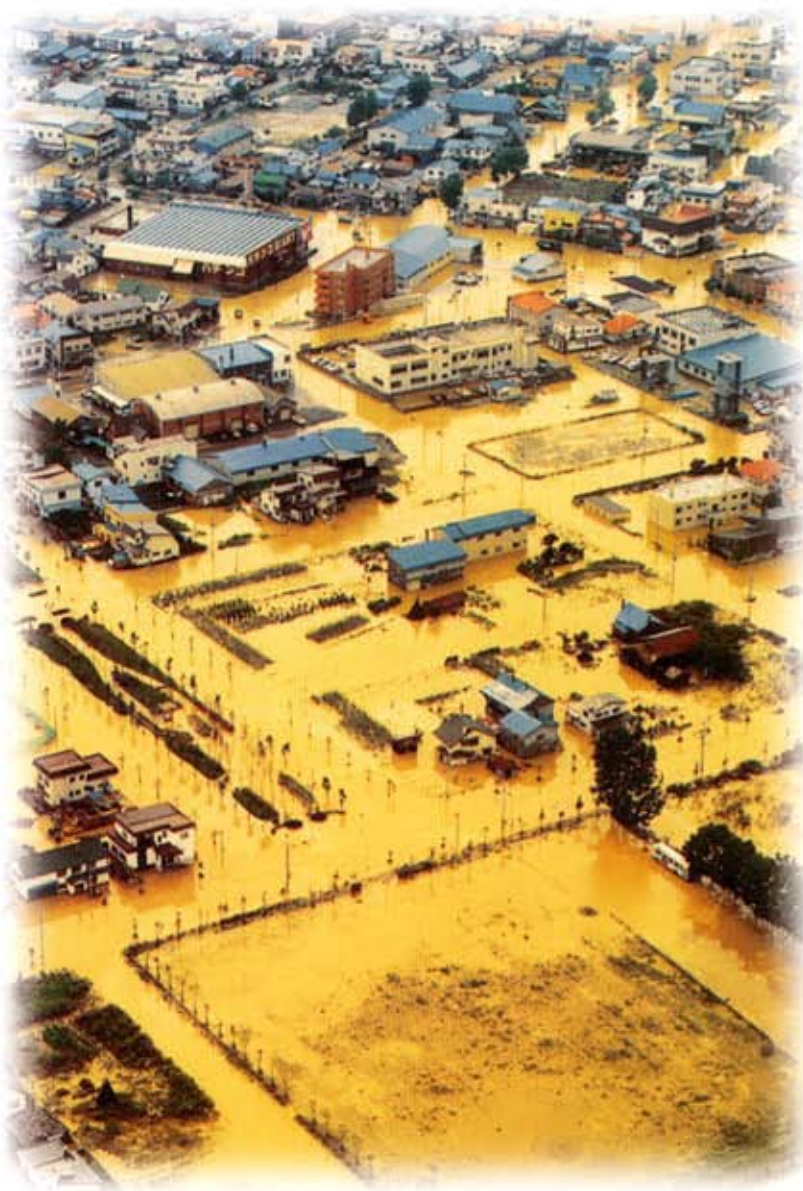
しかし、留萌川は、その反面昔から豪雨のたびに氾濫を繰り返し、昭和50年8月、昭和56年8月と相次いで大きな出水に見舞われていることから、早急に治水事業を進める必要があります。



悪夢の
昭和50年
8月洪水



萌川 R・I・V・E・R



昭和63年8月洪水では各地で計画高水位を超える既往最高水位を記録し、上中流部の低平地の大部分が冠水。さらには人口が集中する下流市街地の約1/3が浸水し、留萌市の機能が完全に麻痺するなど、甚大な被害となりました。

留萌川洪水の変遷

洪水名	原因	大和田・2日雨量	被害状況
昭和30年7月	低気圧	127.7mm	家屋浸水… 986戸 道路損壊… 3力所 農地被害… 400ha
昭和30年8月	前線	153.9mm	家屋浸水… 3,135戸 道路損壊… 33力所 農地被害… 1,882ha
昭和39年8月	低気圧	90.2mm	家屋浸水… 185戸 道路損壊… 2力所 農地被害… 172ha
昭和40年9月	台風	71.8mm	家屋浸水… 139戸 道路損壊… 2力所 農地被害… 250ha
昭和48年8月	低気圧	122.5mm	家屋浸水… 132戸 道路損壊… 2力所
昭和50年8月	台風	167.7mm	家屋浸水… 44戸 道路損壊… 1力所 農地被害… 219ha
昭和50年9月	低気圧	99.4mm	家屋浸水… 91戸 道路損壊… 1力所 農地被害… 355ha
昭和56年8月	前線	169.4mm	家屋浸水… 220戸 道路損壊… 58力所 農地被害… 504ha
昭和63年8月	前線	331.0mm	家屋浸水… 3,376戸 道路損壊… 74力所 農地被害… 623ha



留萌川上流部



留萌川まつり

留萌の母なる流れ

留萌川は、天塩山地の南端を源とし、低い山地に囲まれた細長い低平地を流れ、留萌港北側で日本海に注ぐ流域面積270km²、幹川流路延長44kmの河川で、流域すべてが留萌市となっています。

留萌川の名前は、アイヌ語の「ルル・モ・ヲッ・ベ」に由来し、「潮が静かに遡る川」を意味しています。

流域は山林の面積が86%を占め、豊かな樹木が生い茂り、カワセミ、アオサギを始め多くの動物も棲息しています。

留萌川は、農業用水として利用されている一方、その川辺は市民のいこいの場としても活用され、毎年川まつりなどのイベントでにぎわっています。



大和田遊水地

留萌川の水害を

大和田遊水地の必要性

現状の治水安全度は下流市街部で未だ十分な水準に達していません。そのため、資産の集中する下流市街地区への洪水調節効果が最も大きな大和田地区が遊水地として選定されました。大和田地区は現在無堤であり、遊水地を建設することにより結果として治水安全度も向上します。

下流市街地の
洪水被害軽減

大和田地区の
冠水頻度の軽減

大和田遊水地の

目的

上流地区の
改修促進



大和田遊水地のしくみ

大和田遊水地は出水時に洪水被害を被っている田畑周辺を土堤で囲み、遊水地として利用することにより洪水調節を行うものです。現在、当地区は無堤地区となっており、旧川部が締め切られていないことから、越流堤及び囲いよう堤を設けることにより、田畑などの洪水被害の軽減が期待できます。

なお、遊水地内の民有地については田畑の有効利用のため、地役権を設定します。

大和田遊水地諸元

区間	留萌川右岸 kp9/7~9/9		
計画水位	EL10.59m	洪水調節量	50m ³ /s
有効貯水量	500千m ³	遊水地面積	約38ha
囲いよう堤延長	2,200m	周囲堤延長	1,620m
越流堤	1箇所、180m		





平常時

流域を洪水から守る
大和田遊水地
完成予想図

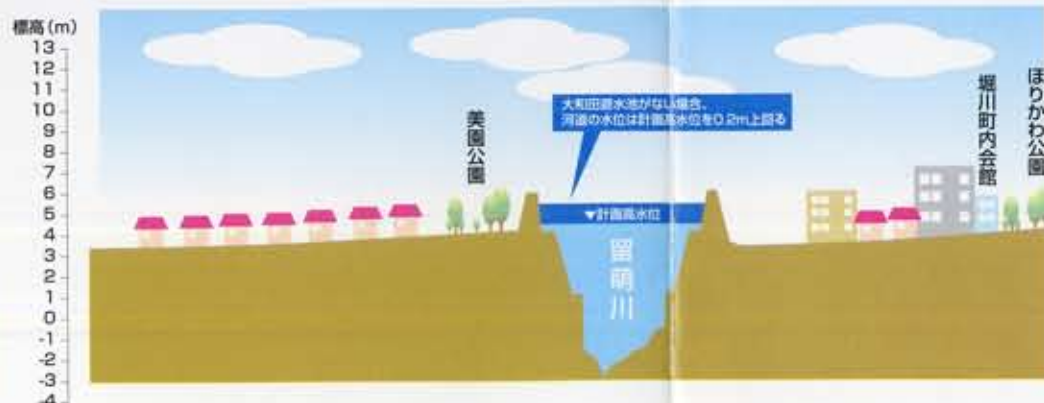


洪水時



大和田遊水地の氾濫水位低減効果

大和田遊水地効果概念図



流量配分図

留萌川 基本高水流量図



整備計画 完了での効果



留萌川流域図



補償の基本方針

- ・遊水地内の用地は地役権方式により、現在の土地利用を活かしながら、遊水地としても複合利用いたします。また、越流堤、囲によつて、周囲堤などの河川管理施設用地は買収することといたします。
- ・地役権とは、現在の土地利用を行いながら、さらに国が遊水地として使用する権利を設定することです。地役権が設定されると流水の貯留に支障を及ぼすような高い盛土や家屋などの築造行為が制限されますが、農地の耕作は従前どおり自由に行うことができます。すなわち、地役権の設定は同一の土地を農業のためにも使い、治水のためにも使うということで広大な土地を複合的に有効利用するための大変合理的な手法なのです。また、地役権が設定されても土地の売買や賃貸などは従来どおりです。国が地役権を設定する際には適切な補償を行っています。

補償概要

- ・関係者数…… 25名(公的機関も含む)
- ・概要

	件数	数量
用地取得	12件	7.4 ha
地役権設定	9件	17.0 ha
移転世帯数	6戸	



留萌川
RUMOI RIVER



あしたを創る 水の知恵
北海道開発局



留萌開発建設部治水課

〒077-8501 留萌市寿町1丁目68 (0164)42-2311(代)

メールアドレス info_rm@hkb.mlit.go.jp

ホームページ <http://www.rm.hkd.mlit.go.jp>

※再生紙を利用しています。